



Nanpuh Medi-CO

11月5日 加藤勝信先生が南風病院を視察されました



手術室 da Vinci Xi



2023年11月5日、加藤勝信先生（前厚生労働大臣）が当院を視察されました。加藤勝信先生は、厚生労働大臣に3度登板し、過去に官房長官も務められています。

病棟、手術室（ダヴィンチ）、高齢者・健康長寿医療センター、健診部を見学されたのち、理事長、副理事長、名誉院長、副院長、看護部長と院内のカフェで懇談をされました。

案内の際は、病院の設備や体制について多く質問をされ、手術支援ロボットダヴィンチには実際に機械に触られるなど、とても関心を示されていました。

懇談では、高齢者・健康長寿医療センターにおける高齢者の実績、看護師の人材不足について、ICT導入による業務効率化等の話がありました。加藤先生からは業務改善に役立つ先進的な取り組み事例などをご教示いただきました。

和やかな雰囲気の中、貴重な意見交換ができたひとときでした。最後には、当院の最新の技術の提供や地域医療への取り組みについて、「新しい取り組みに挑戦する姿勢を持っている」とお褒めの言葉をいただきました。



高齢者・健康長寿医療センター



院内の南風カフェにて懇談

10月27日 医師対象の講演会「腰痛診療の最前線」を行いました



講演 腰痛診療の最前線

講師 松本 守雄 先生
慶應義塾大学 整形外科学教室 教授
慶應義塾大学病院 病院長

座長 谷口 昇 先生
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 整形外科学 教授



2023年10月27日、南風病院 多喜ホールにおいて、「腰痛診療の最前線」と題して医師対象の講演会を行いました。講師に、慶應義塾大学整形外科学教室 教授、慶應義塾大学病院 病院長の松本守雄先生、座長に、鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 整形外科学 教授の 谷口昇先生をお招きして行いました。

松本先生から、腰痛の原因、代表的な疾患である椎間板ヘルニアと脊柱管狭窄症の症状と治療について詳細なご講演をいただきました。腰痛は多くの日本人が訴える症状で、その原因是多岐にわたります。椎間板ヘルニアは症状から診断し、保存療法を第一選択としつつ、効果がない場合は手術療法を選択すること、脊柱管狭窄症では神経障害の症状が特徴的で、保存療法の限界があり、早期の手術療法が推奨される場合があることなど、実際の症例を交えながら分かりやすくご説明いただきました。また、酵素注射による椎間板ヘルニアの治療、低侵襲な除圧固定術、集学的治療など最新の治療法や研究開発についてもご紹介いただき、腰痛治療の発展が期待できる内容でした。

今回は、地域の医療機関からご来院された先生の皆様と当院医師を合わせて約50名が参加となりました。講演後には活発な質疑応答、意見交換が行われました。ご参加いただいた先生の皆様ありがとうございました。



この講演会は、最新の医療の情報を地域の医療機関の先生方へ発信することを目的としています。南風病院では、今後も医師を対象とした講演会を企画していきます。病院ホームページ、連携室ニュースメール、郵送等でご案内いたしますので、地域の先生の皆様のご参加をお待ちしております。

本講演の内容は動画でご視聴できます。ご希望の方は、地域医療連携室にお電話またはメールでご連絡ください。

地域医療連携室 TEL:099-805-2732 E-mail renkei@nanpuh.or.jp



公益社団法人 鹿児島共済会 **南風病院**

〒892-8512 鹿児島市長田町14番3号 TEL 099-226-9111
<http://www.nanpuh.or.jp>

■ 地域医療連携室 TEL:099-805-2732 FAX:0120-707-142



<https://www.nanpuh.or.jp>